

J R 東日本労働組合

NAGANO

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2019年 2月 6日 No. 301

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：臼井幸一

編集：情宣部

2019春闘のたたかいスタート!

要求満額獲得



たたかいます

全組合員でたたかいをつくり出そう! part 3

経団連は1月28日、所要企業の労使が意見を交わす「労使フォーラム」を開き、2019春闘が事実上スタートしました。

「経団連」はベアやボーナス、諸手当など年収ベースの賃上げを企業が実情に応じて検討するよう提案しました。また、「官製春闘」からの脱却姿勢を鮮明にしています。安倍首相は昨年「3%以上の賃上げ」を求めましたが、今春闘での水準には言及していません。

一方、「連合」は「2%程度を基準」とするベアに定期昇給分の2%を加えた「4%の賃上げ」要求を掲げています。6年連続でベア要求を掲げましたが、連合傘下組織は対応が割れていて、交渉の難航もささやかれているそうです。「率」による要求を掲げた一方で、新たに「水準方式」も重視し、具体的な月給の目標金額を要求し、大手企業と中小企業の格差是正を狙っています。

- 連 合—2%程度を基準とするベースアップを要求
- 金 属 労 協—月額3,000円以上のベアを要求
- 電 機 連 合—月額3,000円以上のベアを統一要求
- 自動車総連—ベアの統一要求を見送り
 - ・トヨタ自動車労働組合—ベアや定期昇給を合わせ、期間従業員らを含む全組合員一人平均12,000円要求

また、5日に連合の神津会長と経団連の中西会長が2019春闘をめぐる会談し、神津氏がベアを含む月例賃金（月給）の引き上げを強く求めたのに対し、中西氏は「基本的な認識は共有できている」と述べた一方、連合側のベア重視の方針に「立場が違う」と発言、ベアを「一つの選択肢」としながらも、手当や賞与も含めた年収ベースでの引き上げを呼びかけ、両者の隔たりが鮮明となりました。

今後、主要企業の労働組合側が2月末までに要求を提出し、3月中旬には経営側の回答が集中するヤマ場を迎えます。

2月9日、本部「第6回中央委員会」、2月23日、地本「第6回地方委員会」、2月24日、本部「2019春闘総決起集会」で要求の決定や満額獲得へ向けた意思統一をしていきます。委員会や集会への参加と、各支部・分会での創意工夫した運動をお願いします!